

ジャスミン・クーが大会スコア記録を更新する活躍で米国女子が首位を堅持
男子は韓国とアメリカを中心に混戦模様。

愛知県豊田市（2024年6月20日）

米国女子をリーダーボードのトップに押し上げる原動力になったのはジャスミン・クーだ。
クーは5連続バーディーを含む8アンダー、64の大会最少スコアをマーク。36ホールでの大会記録も更新した。
比較的距離の短いセッティングで本人もコースとの相性良さを感じている。
「ウェッジショットが得意ですし、グリーンも非常にピュアです。そこにまともなパットを打てば、大抵はカップ
インします」言葉通り36ホールを終えてノーボギーでのラウンドが続いている。
昨年、惜しくも届かなかった優勝に王手をかけた。

男子は依然として接戦が続く。韓国は昨日に引き続きチームスコアを134でまとめ、米国に2打差のリードを取った。「攻撃的になりすぎず、冷静にプレーする必要があります」と第1日に65、第2日も69を出してチームに貢献したパク・ガンウォンに油断はみられない。

一方、日本男子は苦しい2日目になったが松山茉生が気を吐いた。2日間で11アンダー131とし、36ホールでの新記録を打ち立てた。「アイアンショットが本当に良かった」とパー5の6番ホールでイーグル、後半は5つのバーディー。好調の理由を「バックナインで1つボギーがありましたが、パターが良くなってきている」と冷静に分析した。

6大陸の地域予選を含めると70のナショナルチームが参加した2024トヨタジュニアワールドカップ。
30回の節目の大会は、いよいよクライマックスを迎える。